



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社高松コンストラクショングループ

コード番号 1762 URL <https://www.takamatsu-cg.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉武 宣彦

問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員グループ統括本部長 (氏名)井筒 廣之 (TEL)06-6303-8101

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	199,823	14.3	10,473	75.6	10,173	69.8	5,703	77.7
2019年3月期第3四半期	174,893	△0.9	5,963	△33.3	5,992	△33.1	3,209	△33.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 6,094百万円 (76.8%) 2019年3月期第3四半期 3,447百万円 (△44.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第3四半期	163	81	—	—
2019年3月期第3四半期	92	16	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	195,737	108,017	55.2
2019年3月期	190,590	118,126	54.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 107,982百万円 2019年3月期 104,018百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年3月期	—	22.00	—	38.00	60.00	—
2020年3月期	—	23.00	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	40.00	63.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	受注高		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	310,000	1.6	270,000	8.1	13,300	6.9	13,300	7.0	7,300	3.9	209	66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	38,880,000株	2019年3月期	38,880,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	4,061,303株	2019年3月期	4,061,303株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	34,818,697株	2019年3月期3Q	34,818,697株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、発表日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. 補足情報	8
連結受注高・連結売上高の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、穏やかな成長が継続した前期に比較し、米中貿易摩擦や消費税率アップなどもあり企業収益や住宅着工などが弱含みに推移するなど、足踏み感がより強く感じられるようになりました。国内建設市場は、通年見通しとしては高原状態の継続が予想されている中、第3四半期までの累計ベースでの受注金額は対前年で5.5%のマイナスとなっていますが、第3四半期の受注金額は民間、官公庁共に今年度初めて対前年度比でプラスに転じました。

このような状況の中、当社グループは2020年3月期を初年度とする3ヶ年の中期経営計画「Create! 2022」をスタートいたしました。

本中計では、「高成長・高収益企業を創る」「グループの新事業領域を創る」「多様性尊重・コンプライアンス重視の企業文化の創出」「シナジー効果の創出」「経済・社会や環境への価値創造」の5つの「創る」をキーワードに、中計最終年度の2022年3月期には売上高3,000億円、営業利益180億円を達成する計画となっています。この中で、好調が持続している東名阪の土地有効活用事業を中核事業とする高松建設グループが事業拡大を図るとともに、青木あすなる建設グループは安定成長しつつ、利益率の向上を図る計画です。

また、2019年8月6日開催の当社臨時取締役会において決議いたしました、当社の連結子会社である青木あすなる建設株式会社（東京証券取引所市場第一部、証券コード1865）の普通株式の全て（ただし、自己株式および当社がすでに保有していた株式を除く）を取得することを目的とする公開買付けはつつがなく完了いたしました。これにより19年にわたって当社と親子上場を継続してきた青木あすなる建設株式会社は、2019年11月11日をもって当社の完全子会社になりました。今後はグループ全体のさらなる一体的運営を実現するとともにシナジー創出の強化を目指してまいります。

上記の経営戦略および重要な施策のもと、当第3四半期連結累計期間の受注高は205,131百万円と前年同期比5.9%減となりましたが、売上高は過去最高の199,823百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

利益につきましては、工事の順調な進捗により完成工事高が伸びたことに加え、選別受注の徹底および業務の効率化等に努めた結果、高松建設と青木あすなる建設を中心に増益となり、営業利益は過去最高の10,473百万円（前年同期比75.6%増）、経常利益も過去最高の10,173百万円（前年同期比69.8%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期に比べ77.7%増の5,703百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっており、本社管理費等の調整額△2,902百万円は外数となっております。

(建築事業)

受注高は111,078百万円（前年同期比4.9%減）、完成工事高は107,012百万円（前年同期比36.3%増）となり、セグメント利益は6,375百万円（前年同期比75.1%増）となりました。

(土木事業)

受注高は76,746百万円（前年同期比9.1%減）、完成工事高は75,504百万円（前年同期比5.0%減）となり、セグメント利益は5,934百万円（前年同期比51.6%増）となりました。

(不動産事業)

不動産の売買および賃貸等による売上高は17,306百万円（前年同期比2.8%増）となり、セグメント利益は1,066百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5,147百万円増加し、195,737百万円となりました。

その主な要因は、現金預金が7,848百万円減少した反面、東京の新社屋用土地取得などに伴う有形固定資産が10,042百万円、未成工事支出金が1,325百万円、販売用不動産が1,076百万円、新規連結子会社の取得に伴う、のれんが609百万円増加したことなどによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ15,256百万円増加し、87,720百万円となりました。

その主な要因は、工事未払金が3,913百万円減少した一方、短期借入金11,200百万円、未成工事受入金が7,364百万円増加したことなどによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ10,109百万円減少し、108,017百万円となりました。

その主な要因は、当社連結子会社である青木あすなる建設株式会社の普通株式の公開買付けを実施したことにより、非支配株主持分比率が低下し、非支配株主持分が14,073百万円減少した一方、親会社株主に帰属する

四半期純利益5,703百万円の計上と配当金の支払2,123百万円などの相殺により、利益剰余金が3,579百万円増加したことによるものです。

以上の結果、純資産の額から非支配株主持分を控除した自己資本の額は107,982百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.6ポイント増加し55.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日付で公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	62,074	54,226
受取手形・完成工事未収入金等	72,219	71,556
販売用不動産	10,153	11,230
未成工事支出金	1,594	2,920
不動産事業支出金	631	1,086
未収入金	6,262	5,990
その他	1,369	2,330
貸倒引当金	△106	△104
流動資産合計	154,199	149,235
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	5,429	5,592
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	1,273	1,387
船舶（純額）	967	896
土地	13,599	23,955
リース資産（純額）	185	197
建設仮勘定	1,046	514
有形固定資産合計	22,502	32,544
無形固定資産		
のれん	1,521	2,130
その他	542	619
無形固定資産合計	2,063	2,749
投資その他の資産		
投資有価証券	5,276	5,379
繰延税金資産	3,802	3,380
その他	3,029	2,720
貸倒引当金	△283	△273
投資その他の資産合計	11,825	11,207
固定資産合計	36,391	46,502
資産合計	190,590	195,737

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	30,974	27,061
短期借入金	—	11,200
未払法人税等	1,737	1,746
未成工事受入金	15,341	22,705
完成工事補償引当金	311	352
工事損失引当金	79	23
賞与引当金	3,099	1,678
その他	8,214	9,976
流動負債合計	59,757	74,745
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	256	256
繰延税金負債	14	32
船舶特別修繕引当金	75	64
退職給付に係る負債	10,903	10,965
その他	1,455	1,655
固定負債合計	12,706	12,974
負債合計	72,463	87,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	524	797
利益剰余金	107,097	110,677
自己株式	△7,483	△7,483
株主資本合計	105,138	108,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	635	726
土地再評価差額金	△1,266	△1,266
為替換算調整勘定	5	△55
退職給付に係る調整累計額	△493	△412
その他の包括利益累計額合計	△1,119	△1,008
非支配株主持分	14,108	35
純資産合計	118,126	108,017
負債純資産合計	190,590	195,737

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高		
完成工事高	158,059	182,516
不動産事業売上高	16,833	17,306
売上高合計	174,893	199,823
売上原価		
完成工事原価	138,032	156,030
不動産事業売上原価	14,360	14,807
売上原価合計	152,393	170,838
売上総利益		
完成工事総利益	20,027	26,486
不動産事業総利益	2,472	2,498
売上総利益合計	22,499	28,985
販売費及び一般管理費	16,536	18,511
営業利益	5,963	10,473
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	108	86
受取賃貸料	43	55
その他	46	52
営業外収益合計	198	195
営業外費用		
支払利息	130	129
支払手数料	0	343
その他	37	22
営業外費用合計	169	496
経常利益	5,992	10,173
特別利益		
固定資産売却益	41	72
投資有価証券売却益	126	22
受取保険金	—	34
特別利益合計	167	129
特別損失		
投資有価証券評価損	—	87
訴訟関連損失	32	62
たな卸資産評価損	—	305
その他	188	60
特別損失合計	221	515
税金等調整前四半期純利益	5,939	9,786
法人税、住民税及び事業税	1,549	3,415
法人税等調整額	737	389
法人税等合計	2,286	3,804
四半期純利益	3,652	5,982
非支配株主に帰属する四半期純利益	443	278
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,209	5,703

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,652	5,982
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△364	83
為替換算調整勘定	57	△61
退職給付に係る調整額	102	89
その他の包括利益合計	△205	112
四半期包括利益	3,447	6,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,988	5,814
非支配株主に係る四半期包括利益	459	279

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

連結受注高・連結売上高の状況

区分	前第3四半期累計 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期累計 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		増減		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	
受注高	建築事業	116,810	53.6	111,078	54.2	△5,732	△4.9
	土木事業	84,411	38.7	76,746	37.4	△7,665	△9.1
	建設事業計	201,222	92.3	187,824	91.6	△13,397	△6.7
	不動産事業	16,833	7.7	17,306	8.4	473	2.8
	合計	218,055	100.0	205,131	100.0	△12,924	△5.9
売上高	建築事業	78,539	44.9	107,012	53.5	28,472	36.3
	土木事業	79,520	45.5	75,504	37.8	△4,015	△5.0
	建設事業計	158,059	90.4	182,516	91.3	24,457	15.5
	不動産事業	16,833	9.6	17,306	8.7	473	2.8
	合計	174,893	100.0	199,823	100.0	24,930	14.3